

文教厚生常任委員会記録簿

会議日程	令和7年9月9日 10:20~11:16			
場所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	永井委員長	栄副委員長	柳谷委員	泰山委員
	里山委員			
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名	保岡町民生活課長	山畠町民生活課長補佐	平瀬係長	
	信島保健福祉課長	静島保健福祉課長補佐	勝田係長	
付議事件	I. 所管事務調査「こども育成環境整備に関する調査」について			
	(1)町民生活課・保健福祉課聞き取り (2)委員長報告について(意見取りまとめ) (3)今後の所管事務調査について			
	担当職員名	宮原書記	委員長署名	永井 しづの
会議の概要				

1. こども家庭センター設置に向けた進捗状況と今後のスケジュール

令和8年4月の設置に向け、担当課より現在の状況を報告。

- 準備状況とスケジュール：現在、設置場所の確定、人員確保に向けた総務課との協議、および業務の整理を行っています。今後は令和7年2月まで計4回、県が主導するワークショップ（研修会）に参加し、補助金や他自治体の課題について検討する予定。また、10月からは事務改善審議会において審議が行われる。
- 設置場所：町民生活課（衛生部門）が水道課と統合して移動するため、その空いたスペースをセンターとして活用する計画（予定）。
- 組織・人員体制：保健福祉課（母子保健事業等）の業務を町民生活課に移管し、スムーズな開設を目指す。職員数は、現行の児童母子係6名に加え、保健師2名、看護師1名、さらに補佐級や主査など2名を増員し、11名体制でのスタートを総務企画課と協議中。
- 専門職の確保：言語聴覚士（ST）については現在も言葉の相談を委託しているが、郡内でも人数が少なく確保が課題となっている。作業療法士（OT）については、現在検討中である。

2. 意見交換と委員からの提言

- 教育委員会との連携：視察先の事例（日置市等）を参考に、教育委員会との連携の重要性が指摘された。町側は、現在も「チャレンジダウンタウン」事業等で社会教育課と連携しており、今後も実務レベルでの円滑な運営に努めると回答。
- また、永井委員長からは視察先で活用されていたスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置も参考にすべきとの意見があった。
- 周知と親しみやすさ：栄副委員長は、SNS等を通じた取り組みの周知を要望した。泰山委員からは、愛称（ニックネーム）の公募を検討してはどうかとの提案があった。
- 利便性とDXの推進：泰山委員より、申請書類のペーパーレス化などDXを積極的に取り入れ、保護者の負担を軽減するよう要望が出された。

3. 意見書の取りまとめについて

委員各自の意見をまとめた検証案（3点）について協議。

- 「町内全域での子育て支援サービスの提供」や「子供の最善の利益を最優先とする理念の明文化」などが盛り込まれ、最終的に26日までに取りまとめることとした。

会	議	の	概	要
4. 次期調査事項（所管事務調査）について 次回の調査テーマとして、介護・福祉分野の「担い手不足・人材確保」が提案された。 ・具体的な検討項目： ・給付型奨学金制度の導入に向けた後押し。 ・古仁屋高校での初任者研修の実施や、自衛隊員家族の活用による人材確保策。 ・特定地域づくり事業協同組合の利活用。 ・今後の予定：9月議会での決定を目指し、詳細を11日に再度集まって協議することとした。				